

感染症対策に関する意識調査（10月調査）

■調査概要

・調査目的

市民の感染症に対する予防意識を把握し、今後の感染症対策の推進における基礎資料とする。

・調査手法

WEB調査

・調査期間

2021年10月15日（金），16日（土），17日（日）

・調査対象者，及びサンプル数

福岡市在住の20歳以上の男女 400サンプル

■回答者情報

・性別×年代 n=400

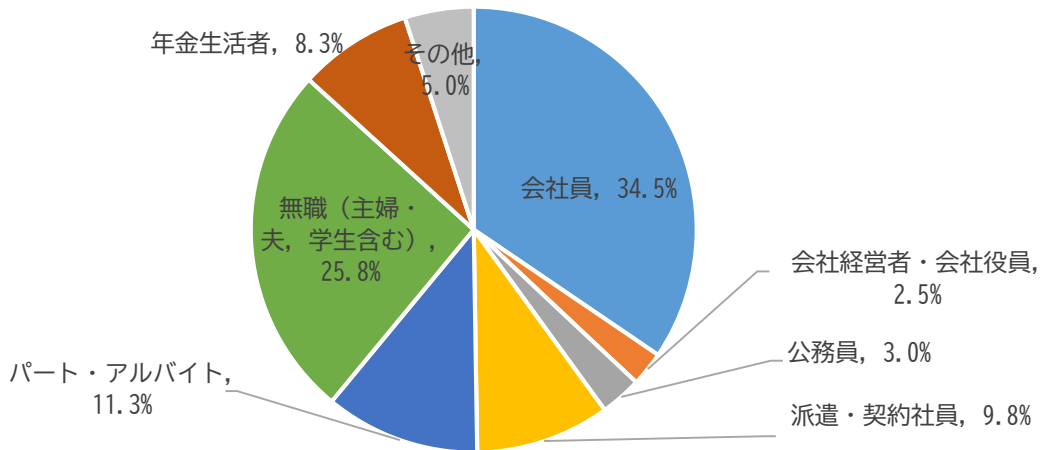
	20代	30代	40代	50代	60代以上	計
男性	39	40	40	40	40	199
女性	40	39	40	39	40	198
答えたくない	1	1	—	1	—	3
計	80	80	80	80	80	400

※性別，年代別に把握するため，各40サンプルずつ割り付け

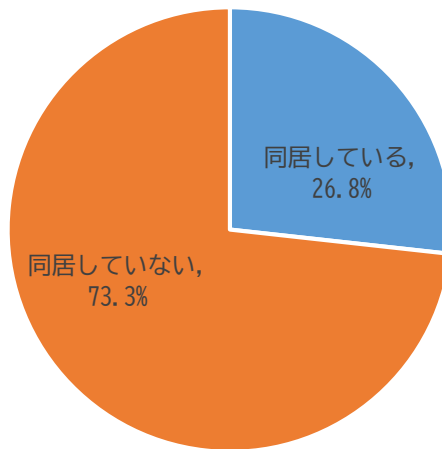
福岡市 感染症対策に関する意識調査

■回答者情報

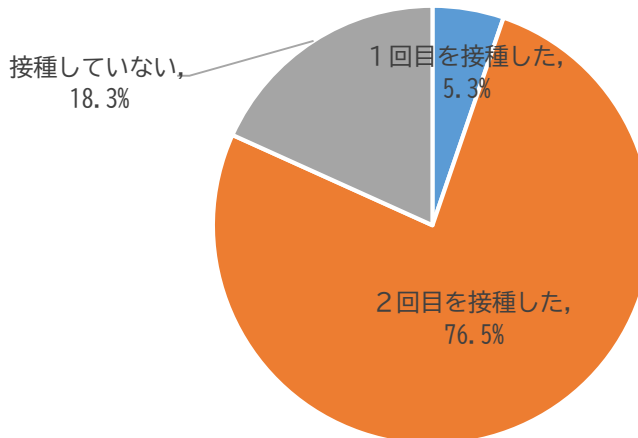
・職業 n=400



・65歳以上の方, または中学生以下の子どもとの同居 n=400

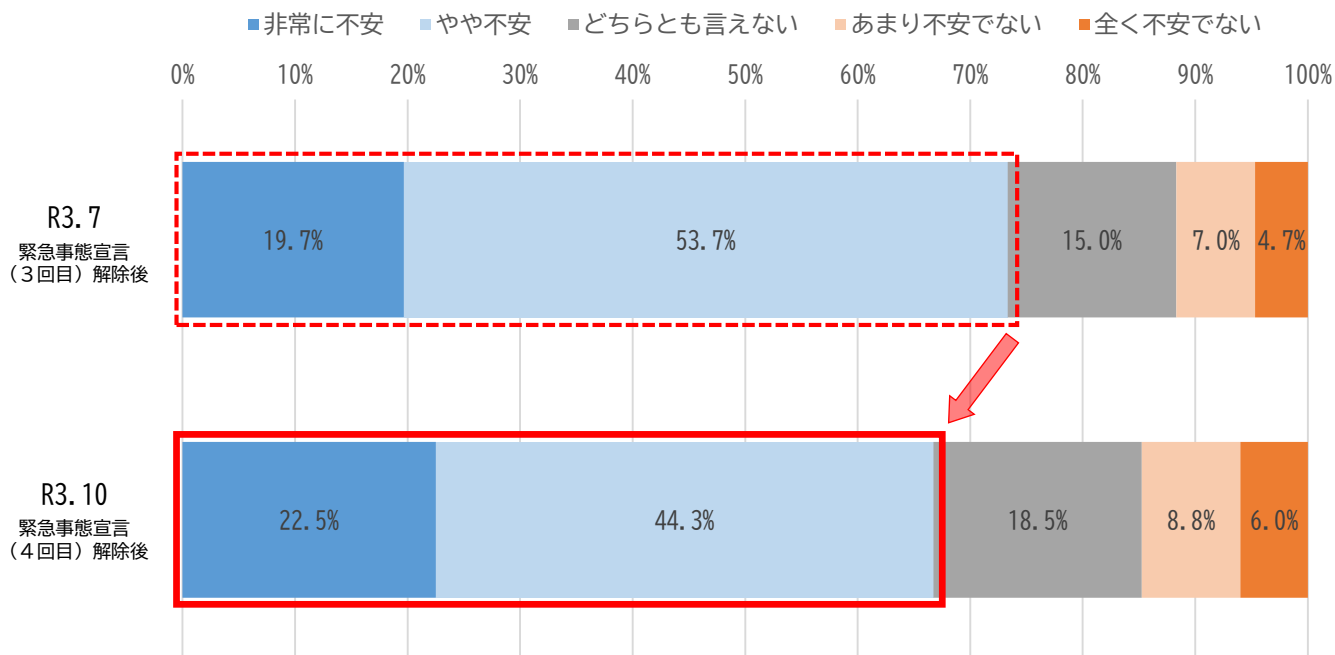


・ワクチン接種の有無 n=400



感染症拡大に対する不安については、

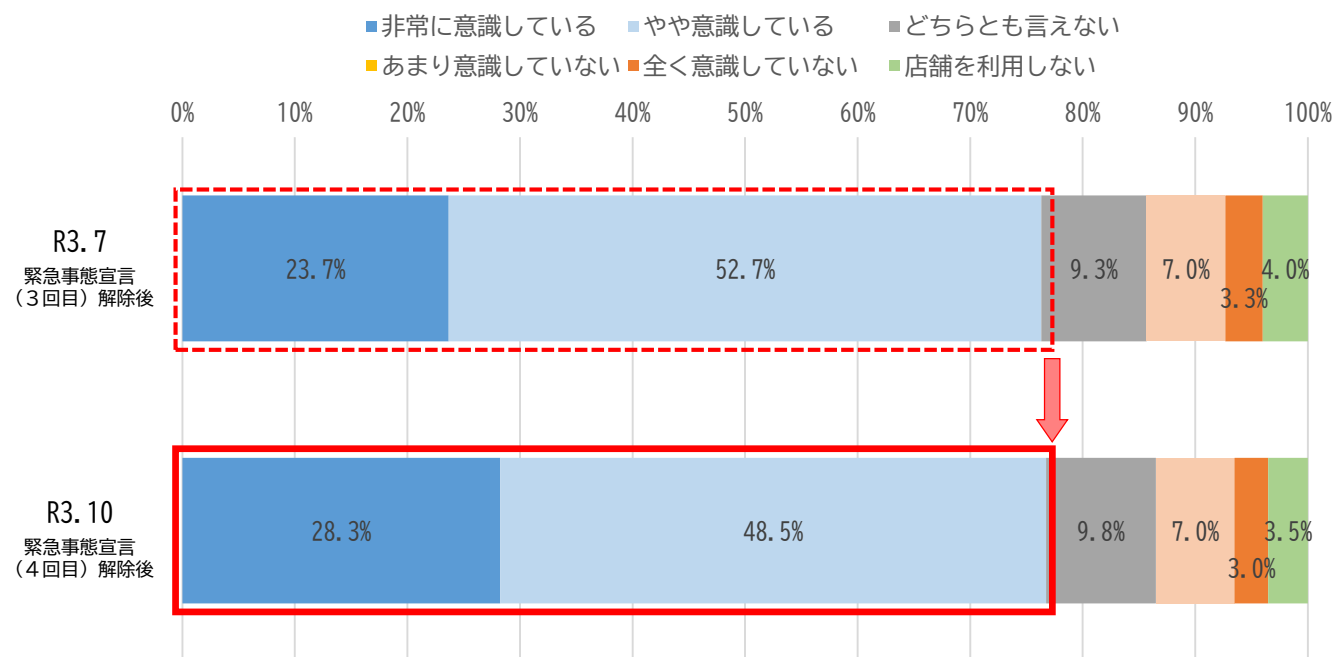
ワクチン接種が進み、緊急事態宣言が解除され、市内の感染状況も落ち着いていることから、「非常に不安」「やや不安」の合計の割合がやや減少している。



Q あなたはコロナウイルス感染症の拡大にどの程度不安がありますか。(R3.7:n=300、R3.10:n=400)

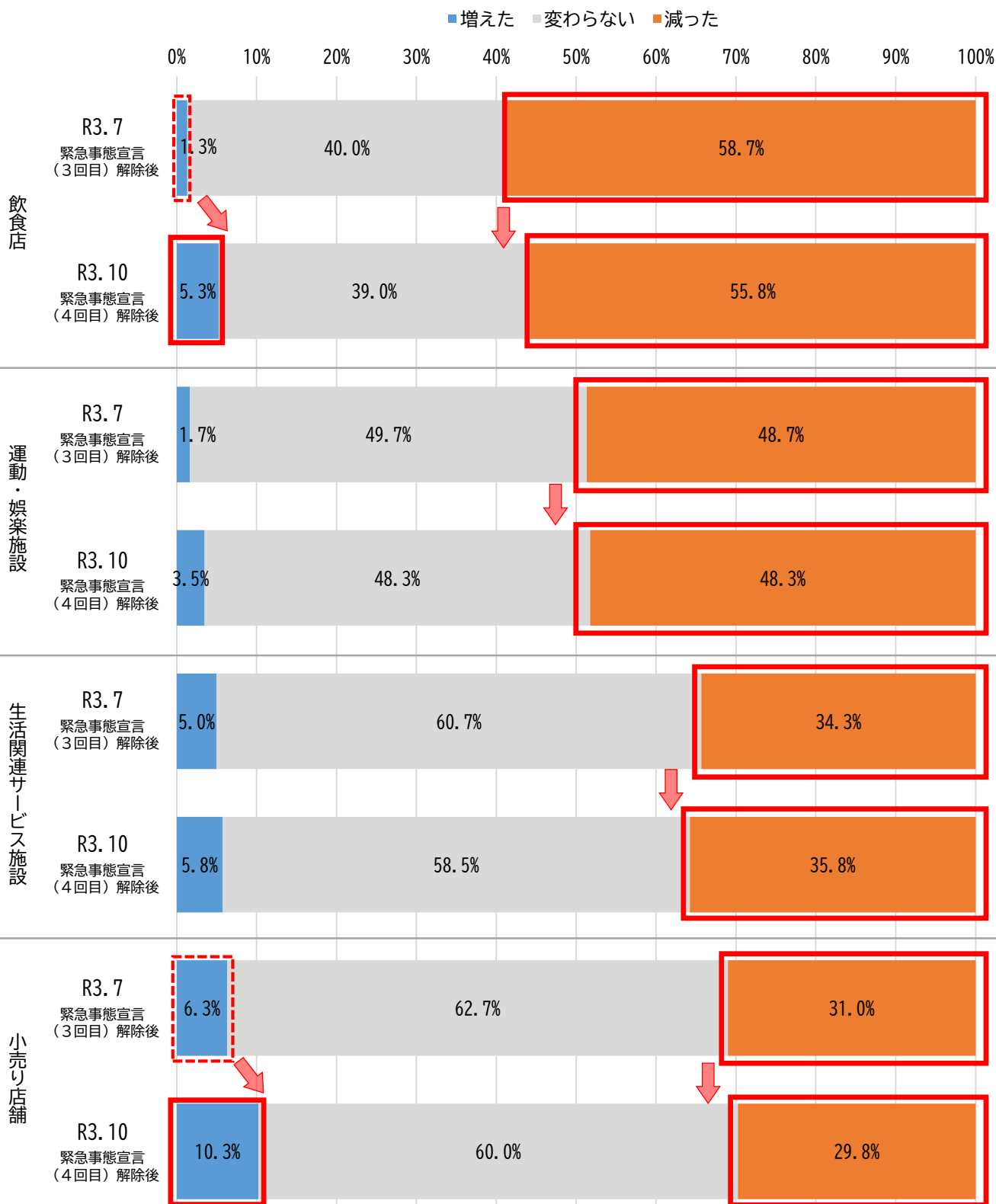
感染予防への意識については、

7月調査に引き続き、約8割の方が感染予防を意識しており、感染予防が日常生活の中で定着化している。



Q あなたは、現在、外出先で店舗を利用する際、「コロナウイルス感染症の感染予防」をどの程度意識していますか。(R3.7:n=300、R3.10:n=400)

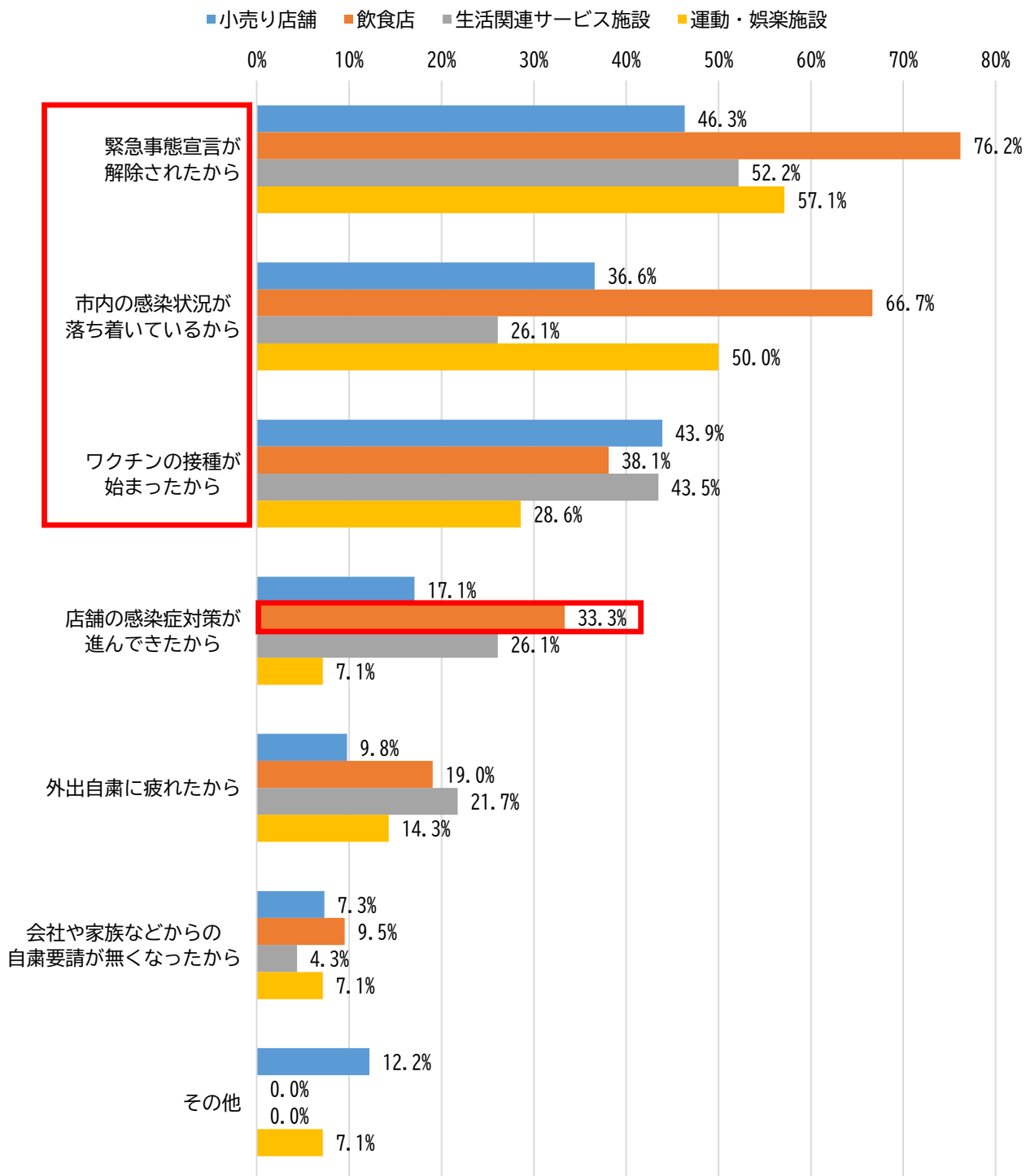
外出して店舗を利用する頻度については、
飲食店や小売店については利用頻度が増えた人の割合が大きくなる一方で、
全ての店舗において利用頻度が減った人の割合は同程度となっている。



Q あなたは緊急事態宣言前と現在を比べて、外出して店舗を利用する頻度が変わりましたか。店舗別にお選びください。(R3.7:n=300、R3.10:n=400)

外出して店舗を利用する頻度が増えた理由については、

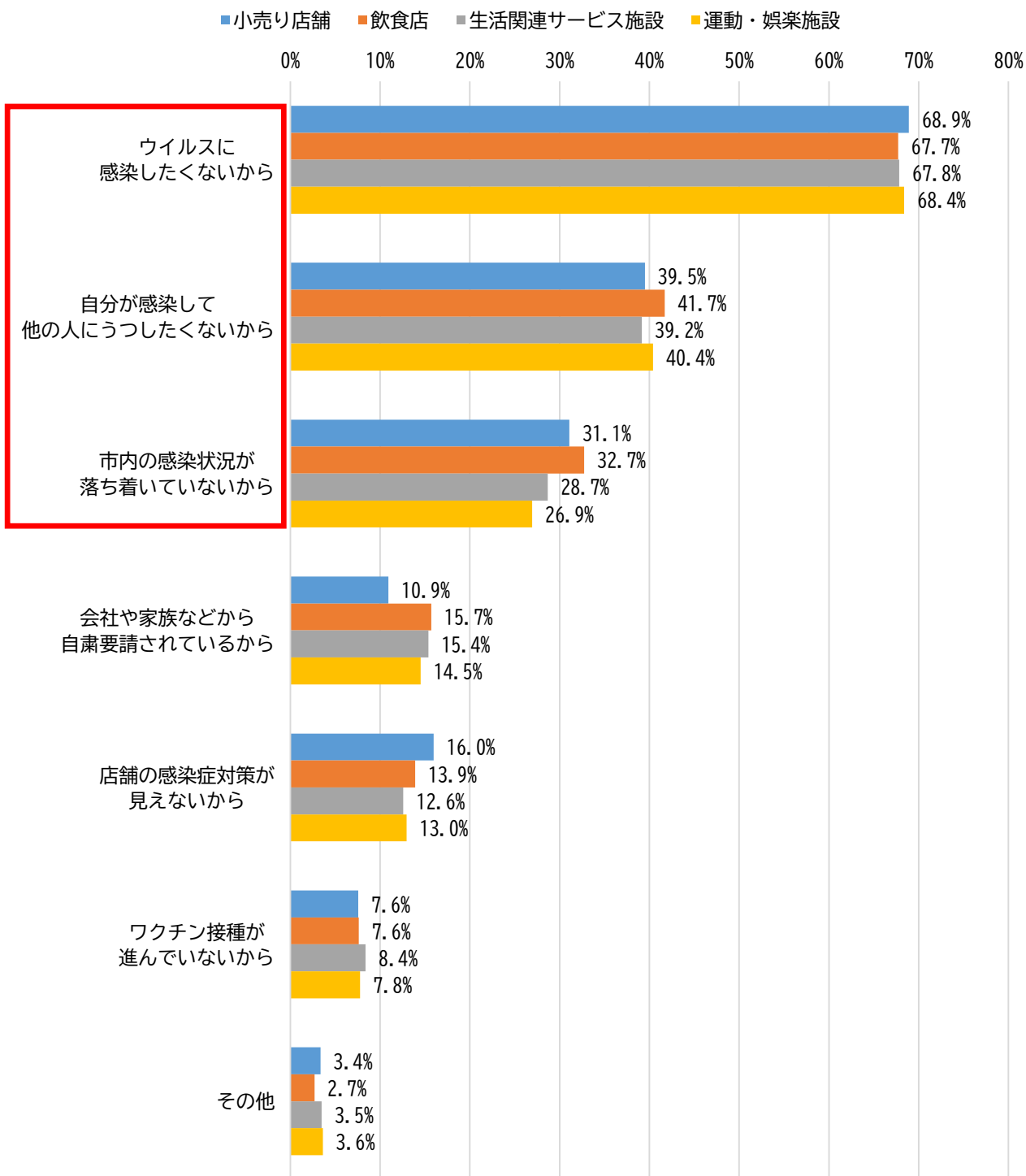
「緊急事態宣言の解除」、「市内の感染状況の落ち着き」、「ワクチン接種の促進」との回答が多い中、飲食店においては、「店舗の感染症対策が進んできたから」との回答も多く、店舗の感染症対策が外出頻度に影響していることが分かる。



Q 外出される頻度が増えた理由を店舗別に全て教えてください。(複数回答可)
 (小売り店舗 n=41, 飲食店 n=21, 生活関連サービス施設 n=23, 運動・娯楽施設 n=14)

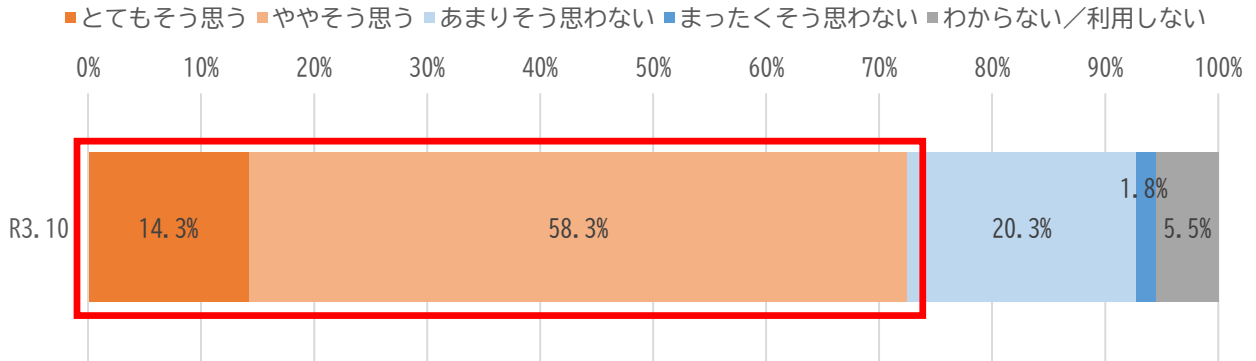
外出して店舗を利用する頻度が減った理由については、

「ウイルスに感染したくない」「他の人にうつしたくない」「市内の感染症状が落ち着いていない」との回答が多く、利用頻度の回復に向けては、店舗における感染症対策が重要である。



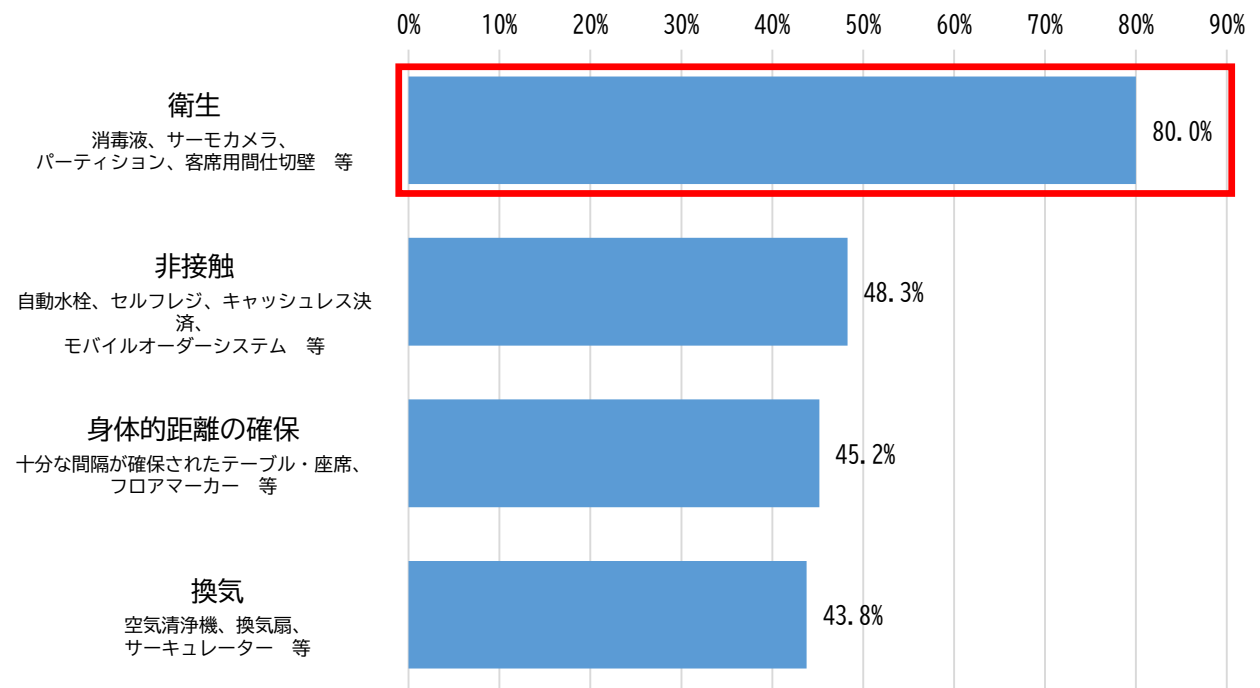
Q 外出される頻度が減った理由を店舗別に全て教えてください。（複数回答可）
 (R3.10 小売り店舗 n=119, 飲食店 n=223, 生活関連サービス施設 n=143, 運動・娯楽施設 n=193)

普段利用している店舗は感染症対策がされているかについては、7割以上の方が、「とても思う」「ややそう思う」と回答しており、日常生活で利用する店舗において感染症対策が進んでいることが分かる。



Q スーパーや飲食店など普段利用している店舗は感染症対策がされていますか。(n=400)

店舗で具体的にどのような感染症対策がされているかについては、衛生関連が8割となっており、多くの店舗で導入され、定着化している。また、それ以外の対策も、いずれも4割を超え、今後導入が進むことが期待される。



Q 具体的にどのような対策がされていると思いますか。(n=290)